

中学年総合「母子の宝を発見しよう」

中学年は、今年度総合的な学習で「母子の宝を発見しよう！」をテーマに学習をすすめました。「母子ってどんなところだろう？」「母子について知っていることを話し合おう」ということで、まずは社会科の「校区探検」をきっかけに学校周辺の様子を知ることから出発しました。また毎年恒例の「花のじゅうたん」や「きらめき」さんへの見学を通して、子どもたちと手探りで「母子の宝」発見の総合学習が始まりました。

母子小学校周辺の散策から

社会科の「校区探検」の学習から、子どもたちが歩いて調べた母子小周辺の様子をマップに起こしました。「ほとんどが田畑や茶畑や。」と子どもたちも改めて自分たちの地域が農作物を多く作っている地域であることを実感していました。

校区探検からは、何を宝として考えていくのか、子どもたちの興味を持つものは何なのかを見つけることは難しく、まだまだ情報が必要となりました。そこで、母子のことが書かれたパンフレットなどを集めたり、新聞記事をさがしたりもしました。そのような中で母子の花豆について書かれてある新聞記事を発見しました。花豆の記事や写真を見ながら、「そう言えば、花豆を兄ちゃんたちが作った。」「花豆の甘煮おいしかった。」「花豆の甘納豆を食べたいな。」と話す子どもがいました。「それでは、花豆作ってみる？」という問いかけに子どもたちもすぐに賛成してくれ、花豆作りに挑戦することになりました。



花豆作りの始まり～地域の人材をさがして～

今年来たばかりの私は、花豆作りの知識もなく地域の人材を探すこととなりました。そこで、今北和隆さんが作っておられることを聞き、さっそくお願いをして子どもたちと一緒に花豆作りを教わることとなりました。

<種まき> 7月



種の植え付けです。今北さんに土の作り方や種を植える時の向きなど詳しく教えてもらいました。



<畑への植えかえ>

2、3日でポットに蒔いた種から芽が出ました。日に日にぐんぐん伸びていく様子に驚いていました。水やりをするたびに「今日もめっちゃ伸びてた！」とうれしそうに報告に来てくれました。

10日ほど立つと30センチ近くになり、いよいよ畑に植えかえることになりました。

植えかえも畑作りから始めました。じゃがいも畑だった畝は再び草に覆われてしまったのですが、子どもたちで一生懸命土を掘り起こし、肥料を入れ、最後に鍬で整えひと畝が出来上がりました。ここでも今北さんに手伝っていただき、伸びたつるを引っかける支柱とネットを設置しました。そして、いよいよ植えかえです。



<長く伸びたつる>



<畑作り>



<支柱とネットの設置>

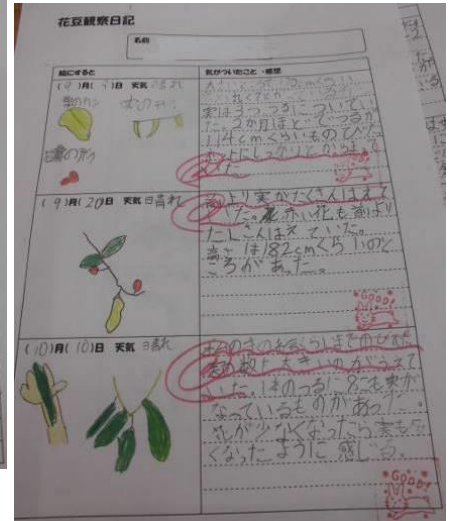
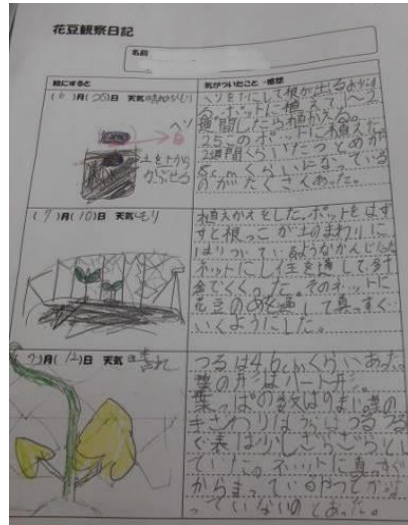


<植えかえ>

子どもたちは、20センチ間隔に花豆の苗を植えていきました。つるもそっとネットにかけ、どれくらい伸びるんだろうと予想しながら作業をしていました。土に根がはるようと茎をおらないように丁寧に作業をしているのが印象に残りました。

花豆観察日記

花豆を育てる様子を観察日記にも書いていきました。花豆の植え方や支柱やネットの設置の様子など、どのように自分たちが作業をしたのか絵や文にし、またその都度思ったことや感じたことを記録していきました。つるが伸びると自分の身長と比べ、さやになると自分の手のひらと比べるなど、比較する方法をいろいろ考えながら観察していました。



夏休みに入り、ぐんぐん大きくなる花豆でしたが雨がふり根基がえぐれ、このままだと鳥につつかれてしまうということを知り、雨の中の応急処置となりました。奉仕作業に来ていた子どもといっしょに根基に土を入れ、事なきを得ました。そんなピンチを乗り越え、9月になると子どもの身長も追い越し、赤い花をつけ始めました。そして、10月には花が実になり、さやの大きさにもびっくりしていました。



いよいよ花豆の収穫

10月に入り、花豆の葉も枯れてきて、さやも茶色くなってきました。今北さんに収穫の時期を聞き、子どもたちは「もう収穫できるかな？」と今か今かと待っていました。

収穫した花豆は、10日ほど干すと、いよいよさやから取り出します。「カラカラって音がしたらいいんだって。」耳もとでさやを振り、音になるのをじっと聞いている様子は、とても微笑ましかったです。



ふるさと感謝祭に向けて発信しよう！

収穫した花豆について全校生やお世話になった地域の方にどのような発信ができるかをみんなで考えました。

子どもたちが伝えたいこと

- なぜ母子で花豆が作られるようになったのか
(花豆の歴史)
- 花豆の育て方
- 花豆料理のレシピ
- 花豆の豆知識
- 花豆を売っているお店の紹介
- 全国での花豆を育てている地域



花豆の甘煮作りに挑戦！！



ふるさと感謝祭での
発表！

ふるさと感謝祭で発信！！

2月1日にふるさと感謝祭がありました。花豆の育て方や、甘煮の作り方など写真を見せながら地域の方に発表しました。また、花豆の歴史などをクイズにしたり、子どもが作った花豆の詩を朗読したりと自分たちが調べてきたことを工夫しながら伝えることができました。最後には花豆の甘煮も試食していただき、地域の方に喜んでいただいたことに子どもたちも満足していました。

花豆を育てて

ぼくたちは、6月の終わりに今北さんに教えてもらって花豆を植えました。土作りを最初に行いました。土は、ふわふわでさわってみるととても気持ちよかったです。

夏休みが終わって畑に行くと赤い花がたくさん咲いてきれいだなと思いました。その中で2つか3つ白い花が咲いていたのでびっくりしました。さやが25cmくらいになって乾燥してきたら収穫をしました。収穫してからもシートの上で干しました。かわいてカラカラとなったらさやから豆を出しました。さやを開けた時にパカッという音がしました。402g収穫できました。後で知りましたが花は観賞用としても楽しめるみたいです。とても豆が大きくて色やもようがきれいだなと思いました。

中学年で花豆の甘煮を作りました。最初に豆を洗ってお湯に一晩つけました。次の日、豆を見ると、「こんなに大きくなっているんだ。」とびっくりしました。教室でことごと弱火でにていると、とてもいいにおいがしてきて「早く食べたいな。」と思いました。ふたを開けて中を見ると、豆からむらさき色の汁が出ていました。味つけにさとうと塩を入れました。もう食べられるかと思ったけど一晩おきました。次の日、やっと食べることができました。あまくてかむととてもやわらかかったです。みんなにも食べてもらおうと「おいしい、おいしい。」と言ってくれたのがうれしかったです。

花豆作りを通して、自然の恵みの素晴らしさを実感し、自分たちなりに表現し、感動を共有したり、深めたりする体験ができたことはとてもよかったです。この体験を次の学年につなげ、さらなる成長を期待したいと思います。